

新年のご挨拶

徳島県知事 飯 泉 嘉 門



明けましておめでとうございます。

公益社団法人徳島県宅地建物取引業協会の皆様には、輝かしい新年を健やかに迎えのことで、心からお慶び申し上げます。また、日頃より、不動産業界の発展のために多大なご尽力をいただくとともに、本県の住宅・建築行政はもとより、県政各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、平昌冬季オリンピック・パラリンピックにて多数の日本人メダリストが生まれ、東京大会への機運が一段と高まるとともに、「TPP11」の発効、「成年年齢の18歳への引き下げ」を盛り込んだ「改正民法」、徳島も関係した2025年「大阪・関西万博」決定など、我が国の社会経済構造に劇的な変化をもたらした年でありました。

県内でも、スポーツ・文化が盛り上がり、アジア初の「ウェイクボード世界選手権大会」には30か国、1万人超の皆様がご来場。2年連続の世界大会を通じ、徳島の魅力を発信したほか、10年ぶりの「近畿高等学校総合文化祭・徳島大会」では、日本文化の未来を担う高校生6,500人の素晴らしいパフォーマンスが、深い感動を与えてくれました。

また、消費者庁「消費者行政新未来創造オフィス」と連携し、その成果を積極的に発信することで、中四国、関西、そして全国へと共感の輪が広がっており、視察された安倍総理から「徳島でフィールドワークがしっかりとでき、その果実を全国展開していくという、非常にいい流れができた」とのご発言を賜りました。

こうした中、「不動産取引」の分野では、一昨年10月に「住宅セーフティネット法」が改正され、地域に眠る宝である「空き家・空き室」の有効活用、高齢者や子育て世代、災害の被災者など「住宅確保要配慮者」の方々に対する「住まい」の確

保といった課題への処方箋として、「住宅確保要配慮者の入居を拒まない民間賃貸住宅」の登録制度が創設されました。本県では、昨年3月、同法に基づく「徳島県あんしん居住推進計画」を策定したところであります。貴協会の皆様には、こうした新制度の普及・啓発にもご尽力いただいております。厚くお礼を申し上げます。

さて、改元が予定され、「新たな時代の幕開け」となる今年の干支は「己亥（つちのと・い）」。 「己」は「紀」に通じ、乱れを正し、あらゆることを収める。「亥」は「核」と同義、エネルギーの凝縮を示します。そこで「己亥」は、「これまでの乱れを収め、次世代に向けて新たなスタートを切る年」とされます。

いよいよ始まる「三大国際スポーツ大会」、ラグビーワールドカップでは、徳島で事前チームキャンプを行う強豪国「ジョージア」の活躍が期待され、徳島・香港間の「季節定期便」が、インバウンド促進はもとより、徳島から世界へと向かうアウトバウンドを一層拡大します。徳島が持つ数々の宝物を、国内外の方々にご提供いただき、観光振興やビジネス発展、そして「地方創生」へつなげて参ります。さらに、昨年、全国各地に相次いだ「大規模災害」を教訓に、「住宅耐震化の促進」をはじめ、事前防災・減災対策についても、着実に推進して参る所存であります。

今後とも、「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」の総仕上げや、さらなる県土強靱化に全力を傾注し、眼前に広がる「未知の世界」へ、積極果敢にチャレンジして参りますので、皆様には、お力添えを宜しくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって実り多き年となりますことを、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。